



旭山動物園は7月に40周年を迎えます
今年もよろしくおねがいします

ASAHIYAMA Zoo

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

はじまりました旭山 心新たに40周年

新しい年を迎え、旭山動物園は心新たに走りだしました。今年もよろしくおねがいいたします。今年、旭山動物園は7月1日に40周年を迎えます。皆さんとこうやって40周年を迎えられることに感謝の気持ちでいっぱいです。

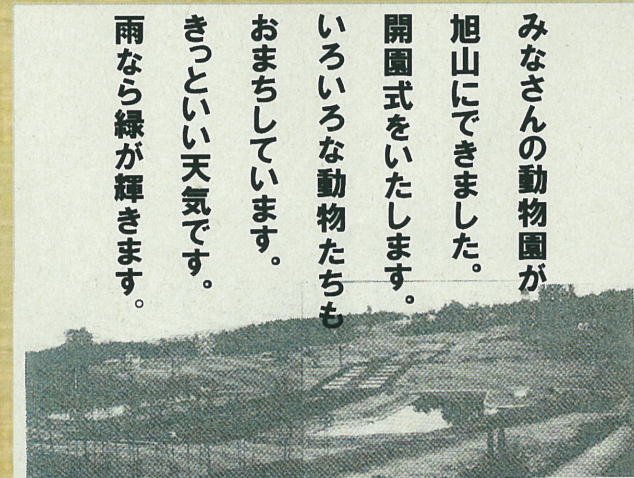


開園以来、旭山動物園にはのべ2千3百万人ものお客さんが動物たちに会いにきてくれました。旭山の動物たちはたくさんの人たちに愛され、ここで輝く命を育んできました。そこに飼育係をはじめ職員の志も40年間受け継がれています。動物園だよりでは、動物園の情報をお知らせするとともに、40年の歴史を振り返っていききたいと思えます。

旭山 今昔

今から40年前のこと。日本最北の動物園が誕生しました。そのお知らせをするのに、市役所から旭川市に住む皆さんにあてたお手紙は次のようなものでした。当時の子どもたちだけでなく、たくさんの人たちの

期待を胸に、旭山動物園は開園しました。その頃、小さかった子どもたちも今やお父さんやお母さんになりました。家族みんなで思い出話をしながらこのコーナーを、読んでもらえるよう、「旭山今昔」のコーナーで旭山の40周年を振り返ります。どうぞお楽しみに。



開園当初 正門からみた園内の様子

3年越しの思いが今現実に!

あざらし館で新たな試みが始まりました。アザラシが柵の外に出てきます。そこでは陸の上にいるアザラシをさらに間近で見られるようになりまし。雪の上を腹ばいで移動する様子や、雪とたわむれる姿、そして体のつくりを間近で見られたりなどアザラシの新たな一面が見られます。



「より多くのお客さんに、冬ならではのアザラシの姿を見てもらいたい」という飼育係員の3年ごしの思いが伝えられそうです。

一方あざらし館内では...



春の放流を目指してサケの稚魚もすくすく

この「お外でもぐもぐタイム」は雪の具合や体調をみて、不定期で行っています。もし、やっとなっても通常のもぐもぐタイムは行いますのでご安心ください。



ペンギン館

あざらし館

あざらし館 出口

10月20日 うまれ 百獣の王 ライオンの赤ちゃんすくすく

10月に生まれたライオンの赤ちゃんが雪とたわむれぐんぐん大きくなってきています。生まれた時は体重およそ1kgだったのが、いまや10kgを超えるほど大きくなりました。放飼場に出ているときは、母親レイラの尾にじやれついたり、駆け回ったりしています。天候や体調によって、見られるときと見られないときがあります。あたたかくなる春には、じっくり見られますので、それまで楽しみに待っていてください。



ライオンの赤ちゃんに
お客さんも興味津々



どんどん大きくなって